

令和3年度 保護者等向け放課後等デイサービス評価表を公表致します。

通所支援事業所などないろでは提供するサービスの質について保護者の方に評価していただきました。

評価していただいた結果を踏まえ、支援内容の改善を図るべく評価表の内容を公表し、子どもたちの支援に活かすと共に、職員の支援技術のスキルアップを図っていきます。

アンケート実施日…令和3年2月1日～令和3年2月10日

対象者 18名

回答数 18名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	0	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18	0	0	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16	2	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	2	10	4	回答なし2名 ・特に交流を希望しない。 ・コロナのため、交流は無くてもよい。 ・コロナのため、今は無理。 ・必要ない。 ・コロナ禍で交流の機会が無いと思うので回答を飛ばします。 ・交流がまた再開出来るといいですね。

保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	9	5	<ul style="list-style-type: none"> ・回答なし2名 ・コロナ禍で交流の機会が無いと思うので回答を飛ばします。 ・必要ない。 ・コロナなので仕方ない。 ・特に希望しない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	3	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1	0	
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分に注意しているか	18	0	0	
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか	15	3	0	
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	18	0	0	何度も訓練を実践してもらい、ありがたい。
	⑰	事業所の支援に満足しているか	16	2	0	
	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事故やケガのないよう安全第一に気を配っていただいて、いつも

						感謝しております。また、子どもたちに対しても子どもと向き合って丁寧に接していただき、ありがとうございます。
--	--	--	--	--	--	---

- ① なないろとして現在の場所で運営を始めてから一年半が経過しました。基準は十分に満たしており、子どもたちが伸び伸びとまた、生き生きとした表情で活動している姿を見ると広さや明るさも十分に確保されいると考えております。今後は夏休み中のプール遊びや外遊び、冬休み中の雪遊び等の場所の確保を検討すると共に、これからも職員一人ひとりが責任をもって子どもたちの動きや状態を把握出来るように関わると共に、子どもたちが安心、安全に活動できるように配慮してまいります。
- ② 基準以上の職員体制に加えて、非常勤職員の配置で支援に取り組んでおります。専門性においてもそれぞれに有資格者であり、機会あるごとに研修を重ねておりますが、更なる質の向上を目指して全職員が研鑽を積んでまいります。
- ③ 放課後児童クラブや児童館との交流について、今回の保護者の皆様からのアンケートの結果ではコロナ禍を憂慮して「交流の機会は今は希望しない、無くてもよい、仕方がない」というご意見、「必要ない」「特に希望しない」という当初と同様のご意見が今年度も多く聞かれました。と同時にコロナ感染症が早く収束して交流がまた再開出来ることを願っている保護者の方もおりました。昨今、障がい児が「生涯にわたって地域の中で生活を送ることができるよう」「インクルーシブ教育の重要性」とうたわれていますが昨年度同様、現実には実際とはかけ離れており、放デイを利用する保護者にも不安感がある状態は続いているように感じられるところです。また、放課後等デイサービスそのものの内容理解については数年を経ても学校、児童クラブとも障がいのある子どもの特性や事業内容の理解が未だに不十分なのではないかと感じる場所もあり、学校、児童クラブのそれぞれが、あと少し障がい児(者)の理解教育を進めていただくと共に、障がいのあるなしに関わらず、ともに生活や活動をすることは両者にとって必要であり、とても意義のあることなので、なないろでもどのように進めれば放課後児童クラブや児童館と交流の機会を持つことができるのかを慎重に検討を重ねていかなければならないと考えています。
- ④ 苦情については対応の体制を整備して保護者の皆様には利用契約の際に必ずしっかりと説明をさせていただいており、周知されていると考えておりますが、今回「どちらともいえない」という回答をくださった保護者の方もおりました。今後は保護者の皆様にしっかりと理解していただけるよう、説明の仕方を工夫するとともに保護者の皆様が質問等しやすいような雰囲気作りを心掛け、努力してまいります。
- ⑤ 緊急時対応マニュアル等についての説明では昨年度半数の保護者の方から「どちらともいえない」という回答をいただきました。説明不足の点があったことを反省し、今年度は利用契約時及び保護者の皆様との個々の面談において再度丁寧に説明することを心掛け、周

知の努力をしております。今後も保護者の皆様に納得していただけるよう丁寧な説明を心掛けてまいります。

- ⑥ 防災訓練について、普段の集団活動の中で防災かるたを繰り返し行うなどして、いざという時にどうすれば良いかを繰り返し指導・意識付けしながら今年度は非常災害の発生等様々な必要な訓練を計画的に実施することが出来ました。
- 今後も湯沢市社会福祉協議会と協力して避難訓練の実施をすると共に、保護者の皆様に予定や様子をお伝えしてまいります。

- ⑦ 今年度も保護者の皆様のご協力のおかげで、子どもたちはケガも無く、伸び伸びとそして生き生きとなないろで過ごしてくれています。私たち職員は子どもたち一人ひとりの大きな成長を感じ、うれしい一年になりました。
- 来年度も今年度コロナ禍で出来なかった親子レクリエーションをはじめとする行事や長期休み中の活動等が実施出来ることを願いながら、コロナ感染ウイルスの状況を踏まえつつ、しっかり環境の把握をして充実した支援の実施に向けて計画を立ててまいります。

今後も保護者の皆様からのご意見を基に改善に努めると共に、一人ひとりのお子様と向き合い、安全・安心になないろを利用できるよう十分に配慮し、上記のことを中心に取り組み、支援の質の向上に努めてまいります。